

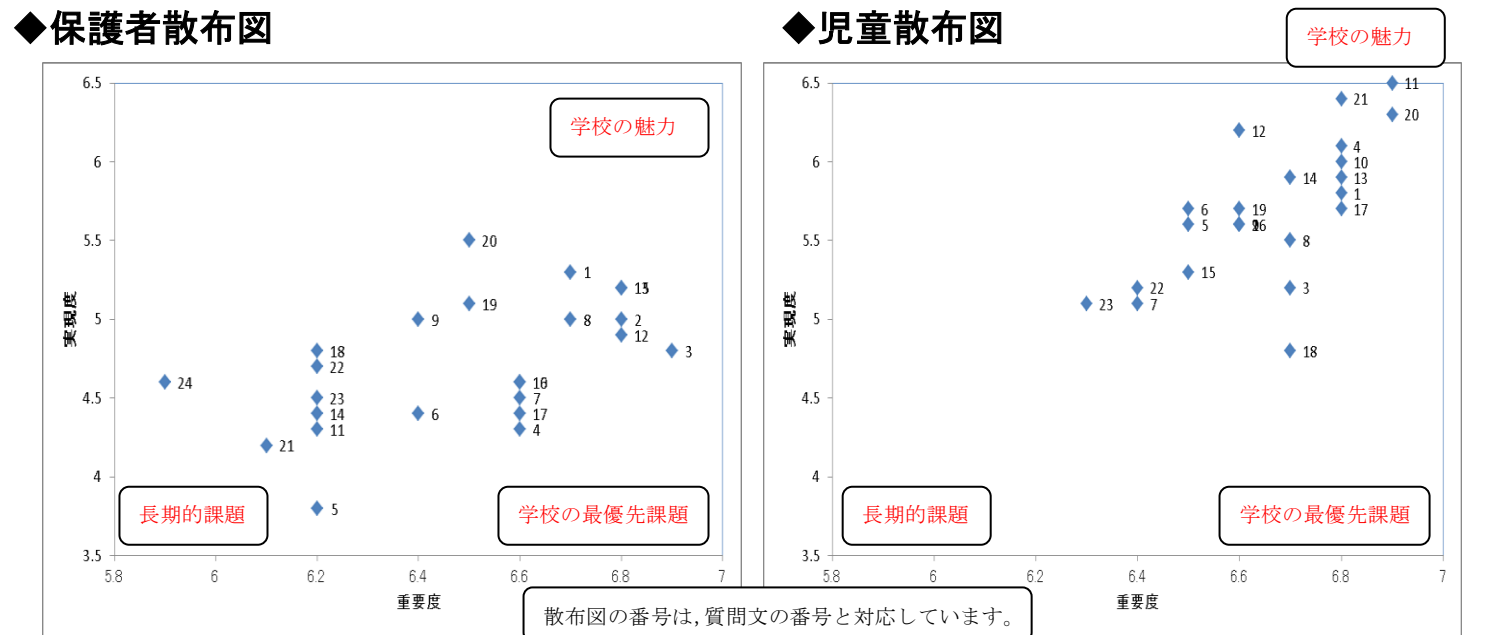
アンケートのお礼

ゆめの森の草花もつばみをふくらませる季節となつてまいりました。平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。1月には学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。結果を報告させていただきます。皆様のご意見を大切にし、今後の仁和教育に生かしてまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

〈アンケートの見方〉

- ・学校評価の観点を4つの分野（確かな学力・豊かな心・健やかな体・学校独自の取組）に分け、児童、保護者、教職員、学校運営協議会理事・企画推進委員を対象として調査しています。多少、表現の仕方に違いはありますが、いずれもほぼ同じ内容の質問をしています。（1・2年生は、質問内容が実現度のみになっています。）尚、保護者アンケートについては、具体的な「評価の視点」を示すことで、基準を明確にし、より客観性を高めるよう取り組みました。
- ・「重要度」「実現度」を同時に尋ねる形式をとることで、「重要であるのに実現度が低い」（ニーズ度が高い）などの課題が分かりやすくなります。
- ・重要度・実現度の最高値は7、ニーズ度の最高値は49です。重要度6.4以上、実現度4.6未満を網掛けにし、ニーズ度25以上を重点課題と捉えています。

◆保護者集計表一覧				
前期と比べて 「↑」 増えた 「↓」 減った 「―」 同じ				
	質問文	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 教師が子どもたち一人一人にわかる授業をするよう心がけていること	6.7↑0.1	5.3↑0.4	18.1
	2 子どもが意欲的に授業に取り組んでいること	6.8―	5.0↓0.2	20.4
	3 子どもが学習の基礎・基本の力を身につけていること	6.9―	4.8―	22.1
	4 自分の思いや考えをわかりやすく書いたり話したりできること	6.6↓0.1	4.3↑0.2	24.4
	5 子どもに本を読む習慣があること	6.2↓0.1	3.8―	26.0
	6 子どもがていねいに家庭学習に取り組んでいること	6.4↓0.1	4.4↑0.1	23.0
	7 子どもが途中であきらめず、学習に対して最後まで粘り強く取り組むこと	6.6↓0.1	4.5―	23.1
豊かな心	8 学校が子ども一人一人を大切にしたい学校づくりをしていること	6.7↑0.1	5.0↑0.5	20.1
	9 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため道徳の授業を行うこと	6.4―	5.0↑0.5	19.2
	10 子どもが進んであいさつすること	6.6↑0.1	4.6↑0.2	22.4
	11 子どもが主体的に児童会活動やたてわり活動に取り組むこと	6.2↓0.1	4.3↓0.1	22.9
	12 きまりや約束事を守ること	6.8↑0.1	4.9―	21.1
	13 子どもが人に対する思いやりの心をもつこと	6.8―	5.2↑0.3	19.0
	14 家族の中での仕事の役割があり、しっかり守っていること	6.2↑0.1	4.4↑0.2	22.3
健やかな体	15 家族の中で子どもとのふれあいや対話の時間をもつこと	6.8↑0.1	5.2↑0.1	19.0
	16 子どもが毎日バランスよくしっかり朝食をとること	6.6―	4.6↑0.2	22.4
	17 子どもが早寝・早起きすること	6.6―	4.4↓0.2	23.8
	18 子どもが好き嫌いなく何でも食べること	6.2―	4.8↑0.2	19.8
	19 子どもが健康や体を大切にしたい指導を進めること	6.5―	5.1↑0.2	18.9
学校独自の取組	20 学校がPTAや見守り隊の方々と力を合わせ、子どもたちの安全を見守っていること	6.5―	5.5↑0.2	16.3
	21 中学校区の小中学校が連携して学校教育に取り組むこと	6.1―	4.2↑0.5	23.2
	22 学校の教育方針や取組が、地域・保護者に伝わっていること	6.2―	4.7↑0.2	20.5
	23 学校が家庭や地域と連携して活動すること	6.2―	4.5↓0.1	21.7
	24 学校・PTA・地域の行事が保護者として参加しやすい活動となっていること	5.9↓0.1	4.6―	20.1



◆児童集計表一覧（3～6年）				
	質問文	重要度	実現度	ニーズ度
確かな学力	1 先生の話すことがよく分かること	6.8↑0.1	5.8↑0.1	15.0
	2 授業中に先生の言われたことがほとんどできること	6.6―	5.6↓0.1	15.8
	3 自分の思いや考えを発表しようとする	6.7↑0.2	5.2↑0.1	18.8
	4 先生や友達の話をしっかり聞くこと	6.8↑0.1	6.1↑0.1	12.9
	5 進んで読書すること	6.5―	5.6↑0.2	15.6
	6 家の人に自分の思いを伝えること	6.5―	5.7↑0.1	15.0
	7 毎日、決まった時間、家庭で学習すること	6.4↑0.1	5.1↑0.2	18.6
	8 いろいろなことにめあてをもって努力すること	6.7↑0.2	5.5―	16.8
	9 いろいろなことにねばり強く努力すること	6.6―	5.6↑0.1	15.8
豊かな心	10 進んであいさつすること	6.8―	6.0―	13.6
	11 自分も友達も大切にすること	6.9―	6.5―	10.4
	12 学校生活を楽しく過ごすこと	6.6↓0.1	6.2―	11.9
	13 学校・学級の「きまり」や「やくそく」を守ること	6.8―	5.9↑0.1	14.3
	14 時間を守って行動すること	6.7↓0.1	5.9―	14.1
	15 家で、手伝いをする	6.5↑0.1	5.3↑0.1	17.6
	16 すみずみまできれいにそうじをすること	6.6―	5.6↑0.1	15.8
健やかな体	17 毎日、バランスよくしっかり朝食を食べること	6.8↑0.2	5.7↓0.1	15.6
	18 毎日、早寝・早起きをする	6.7↑0.2	4.8↓0.2	21.4
	19 好き嫌いなく、給食を食べること	6.6↓0.1	5.7↓0.1	15.2
	20 いつも健康に過ごせるよう、体を大切にすること	6.9↑0.1	6.3―	11.7
	21 安全（交通・防犯）に気をつけること	6.8―	6.4↓0.1	10.9
の学校独自の取組	22 地域のみなさんと交流すること	6.4―	5.2↑0.1	17.9
	23 地域やPTAの行事に参加すること	6.3―	5.1↓0.2	18.3

★保護者・児童のアンケートから

児童アンケートでは、実現度4.6未満の項目はなく、そのためにニーズ度も2.5以上になる項目はありませんでした。前期と比べて各数値の上がり下がり矢印で表しています。また、矢印の右側の数字は、どれだけ変化したかを表しています。保護者・児童アンケートともに前期と比べるとほとんどの項目において変わりがないか、変わっても0.1ポイントの変化にとどまるという結果になりました。その中で児童アンケートの「自分も友達も大切にすること」や「学校生活を楽しく過ごすこと」の実現度が高い値のままであることは多くの児童が、思いやりをもって楽しく学校生活を送っていると考えられ、学校としてとても喜ばしいことでもあります。また、保護者アンケートの実現度で「学校が子ども一人一人を大切にしたい学校づくりをしていること」「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため道徳の授業を行うこと」「中学校区の小中学校が連携して学校教育に取り組むこと」の3項目が0.5ポイント、「教師が子どもたち一人一人にわかる授業をするよう心がけていること」の項目が0.4ポイントそれぞれ上昇しました。今年度の学校の取組をよく評価していただき、ありがとうございます。

今年度は、小中一貫教育「よんきゅう絆プロジェクト」の2年次の取組として5・6年生の外国語活動の授業に中学校教員が参加したり、生徒会と児童会が連携してあいさつ運動をしたりしました。以前より実施していた授業体験や部活動体験、出前授業なども充実させることができました。また、夏休みには合同研修会を13校の教職員で実施することもできました。さらに同じ北野中学校に進学する大將軍小学校との合同取組も検討中です。小中間がより緊密になり、6年生がスムーズに中学校生活を送ることができるよう来年度も取組を進めていきたいと思っています。

道徳の教科化に向けて道徳の授業や取組についても重点をおき、授業の質を向上させるために校内で研究を進めてきました。また、以前から京都市立小学校では、年2回の道徳の授業参観を実施してきましたが、今年度はさらに道徳の「ふりかえりカード」や学習プリントを保護者の方にも見ていただき、一言を書いていたできました。また、通知票と一緒に「道徳のあしあと」をお渡しし、学習の様子を知っていただく機会を増やしました。

☆自由記述欄から（一部抜粋）

- ・いつも気にかけてくださって安心しています。
- ・いつもありがとうございます。先生には色々と助力いただき感謝しています。
- ・毎日楽しく学校生活を送れていると思います。かたよることなくいろいろな友達と仲良く過ごせているようで嬉しく思っています。
- ・6年間、先生方やPTA、地域の方々に見守っていただき本当に感謝しております。中学校へ行っても、また、お世話になることもあるかと思いますがよろしくお願いします。
- ・先生が子どもたちのことをよく見てくださっているのをとても感じています。卒業したくないと子どもが言うくらい、親も子も今の学校の生活に満足しています。
- ・1年を振り返って、先生や地域の皆様にとってもよくしていただき、感謝しております。夏のホタル観賞会は、なかなか経験できないことをしてもらい、とても思い出に残りました。親子清掃も普段見られない子どもの様子や先生たちともお話しでき、よかったです。

【学 習】

- ・自主勉強に励んでいることは、とても良いことなのですが、寝る時間も遅くなっているのも、どこまで認めたらいいのかわかりません。
- ・提出物等の忘れがあれば週末には教えてほしい。

➡ 学年があがるにしたがって自分で課題を見つけ、解決していく学習が多くなります。自主勉強で自分に必要な学習をすることは中学校に向けて大切なことです。京都市教育委員会発行「自学自習のすすめ」によると、毎日の学習のめやすの時間は、「1.5分×学年」くらいと言われています。それと同時に高

学年になれば予定を立てて計画的な学習をすることが望まれています。習い事などでめやすの時間が確保できない日もあると思います。そのことも計画に入れて学習を進め、早寝早起きの規則正しい生活を送ってほしいと思います。また、学習の様子や忘れ物の状況については、学校からも連絡しますので、気になることがありましたら、何なりと担任までお尋ねください。

【中学生に向けて】

- ・小学校の間にアルファベットぐらいは書けるようになる授業をするべき。中学生になって最初のテストでかなりの子が英語嫌いになってしまっている。決して学校任せというわけではない。時間に余裕のある小学生のうちに楽しく身に付けていくほうが、中学生になった時に「できない→嫌い」になりにくい。
- ・学区での小中一貫を目指す上で、もう少し小学校間の交流があってもよいのではないかと思います。
➡ 現在、5・6年生の外国語活動では、慣れ親しむことを中心に授業を進めることになっています。仁和校では、よんきゅう絆プロジェクトの取組の一つとして5・6年生の授業時数を増やし、1～4年生でも段階的に外国語活動を実施しています。北野中学校の英語の先生が5・6年生の授業に入っているのもその取組の一つです。平成32年度から新学習指導要領が完全実施されますが、それに先立って来年度から最大時数枠で実施します。中学年から「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語活動を導入し、高学年から段階的に文字を「読むこと」「書くこと」を加えた指導を行います。また、前述しましたが大將軍小学校との小小連携の取組も検討中です。

【あいさつ】

- ・最近、朝の声かけをしていただいている方（ボランティア）の近くを（立本寺と東門です）通ったのですが、子どもたちの返事が全く聞こえなかったのが残念でした。
- ・あいさつは「元気にできる子＝よい子」ではない。したくてもできない子もいる。なので、あいさつ運動時のハイタッチはよいアイデアだった。
- ・朝・夕の声かけについて、今、PTAの役員、地域の方に行っていただいているが、地域の方々はだんだんご高齢になっていて、だいぶご負担になっているように感じます。保護者全員が1年に一度でも参加するようにすればカバーできるのではないのでしょうか。

➡ 毎月10日にHello Smile運動としてあいさつ運動を児童会中心に行っています。今年は、北野中学校生徒会も参加していただき、合同で実施しました。毎回、立っている児童会役員の児童も気持ちのよいあいさつが少ないと感じていたそうです。そこで、児童の中から「ハイタッチをしてみたらどうだろう。」という声があがり、やってみることになりました。ハイタッチを恥かしがる児童もいますが、喜んでする児童も多く、その際に笑顔が増えています。こんな取組をきっかけに気持ちのよいあいさつが普段からできればと考えています。

☆学校運営協議会理事・企画推進委員の皆様より（一部抜粋）

- ・家庭、保護者の参加する事業や機会を増やしていきたいです。
- ・地域の者が仁和の子どもを温かく見守ることの大切さ、保護者もわが子だけでなく仁和の子どもとして地域の行事に参加協力をする必要があるのではないのでしょうか
- ・まなび教室でほとんどの子どもが宿題を終わらせていますが、まだ時間内に終わることのできない子どもがいます。友だちとおしゃべりに夢中になって注意されたり、たくさんの人の中では集中できず、うろうろ、きょろきょろでこれも注意されています。なかには宿題は夜遅くにするものだと思っている子もいます。少しずつですが「学習する」ということを理解してもらえるようにこれからも努めてまいります。

***たくさんのご意見をいただきました。今後の仁和教育に生かしていきたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。**